

令和 3 年度工賃向上計画書

作業工賃 令和 3 年度目標工賃額（月額）		作業工賃 令和 2 年度平均工賃額実績（月額）	目標工賃を設定する、達成するための目的	
月額 27,000 円		26,565 円	より充実した日常生活を送るため。また、社会参加活動を企業と連携することにより、就職支援にもつなげていく。	
目標工賃を達成するための提案			それぞれの提案のメリットとデメリットを明らかにする	
			メリット	デメリット
1	取引の多い企業を厳選し作業獲得のための提案をしていく。		より多く作業を獲得することに繋がる。成功すれば信頼を勝ち取れる。	取引企業を減らすことは、万が一のときに頼ることはできなくなる。
2	パソコン業務を充実させていく。		業務としては作業や工賃の交渉がしやすい傾向にある。	現状、常にパソコンの業務依頼があるわけではない。
3	会員企業との連携として施設外就労（企業内作業）の充実化。		企業のニーズに沿うことでさらなる業務開拓が見込める。	
4	通所率の向上。個々がより作業を覚え、よりスキルアップしていく。		自発的に作業に入れ、作業のレベルアップが見込める。	疲れが出てくるため、細やかな精神的なケアが必要。
5				
6				
提案から考えるホープ大和の目標工賃向上計画案			目標工賃向上計画案を実行するための計画	
法人の特色である、会員企業との連携を充実させ、より高い工賃実績、就労実績に結び付けていく。作業は数をこなすだけでなく、企業内作業やより達成感、責任感のある作業に従事することで、自尊心の回復にもつなげていく。			1	継続して光文書院流通センター株式会社へ作業一本化の提案をする。
			2	作業用の PC を一新し業務の効率化を図る。
			3	会員企業への新たな施設外就労の提案。
			4	
			実行状況を確認する頻度：半年後（九九カード作業終了時ごろ）に見直しを行う。	